

# 室町時代の生産活動

室町時代には、生産活動において様々な発達が見られた。農業では三毛作が可能となり、また、商工業では行商人の種類が増加した。行商人の種類増加の背景には、商品の種類増加が考えられる。生産活動の発達は相互作用で生じてきた。そして、これら発達は鎌倉時代を前提としている。

## ○生産活動の発達

### ●農業の発達

#### ①農業技術（水車で灌漑・排水施設）の発達

二毛作が各地に広がり、畿内では<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ が開始された。

#### ②水稻の品種改良

成熟速度の異なる「早稲・中稲・晩稲」が普及した。

#### ③外来米の普及

鎌倉時代に輸入された多収穫米<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ が西国で普及した。

#### ④肥料の種類増加

従来からの刈藪・草木灰に加えて、人糞尿を肥料にした<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ が広く利用された。

#### ⑤加工原料の栽培

藍・漆・茶・<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ ・<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ などの栽培が盛んになった。



竜骨車

ペダル式の水車で、江戸時代前期に使用されたと紹介されるが、室町時代には既にあった。



ジャポニカ米（左）・大唐米（右）

大唐米は鎌倉時代に輸入され、一部で普及した。室町時代には西国で普及した。

### ●商工業の発達

#### <特産品>

各地で米と並ぶ生活必需品「塩」の製塩が行われた。

⇒人力による<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_ と、潮の干満を利用する<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ があった。

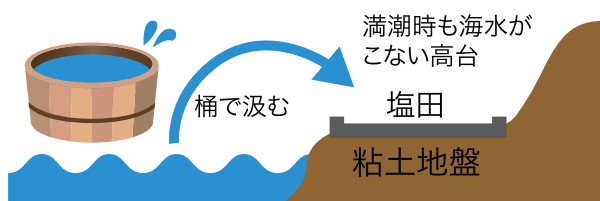


図1 揚浜

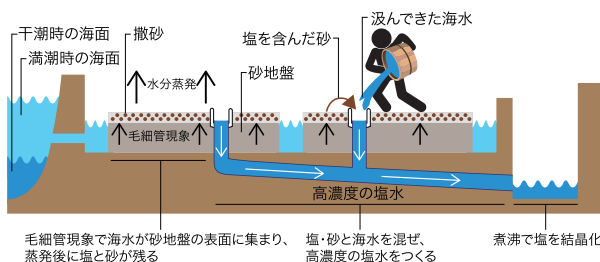


図2 入浜塩田

濃い塩水の煮沸

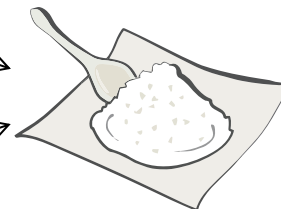


図3 塩

#### <市場>

応仁の乱後、月6回の市<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_ が開かれるようになった。

⇒加えて、常設の小売店<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_ が大都市以外でも一般化した。

## <商人>

木製の荷箱を背負った行商人<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_ や、  
天秤棒てんびんぼうに商品を下げた行商人かりうり振売ふりうりが増加した。

⇒女性の行商人の活躍も目立ち、炭・薪を売る<sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ や、  
京都桂川かつらがわの鵜飼うかいで得た鮎あゆを売る<sup>(12)</sup> \_\_\_\_\_ が京都で活動した。



図4 連雀商人



図5 振売

## <組合>

手工業者や商人の組合<sup>(13)</sup> \_\_\_\_\_ が、数・種類ともに増加した。

→(13) は、神社と結んで神人の、朝廷と結んで供御人の称号を得て、  
関銭の免除・独占的販売権を認められることがあった。

⇒神人には、<sup>(14)</sup> \_\_\_\_\_ を本所とするおおやまぎき大山崎油座や、  
北野神社を本所とするこうじ麴座こうじがあった。

◇本所…特権を与えている組織

◇大山崎油神人…荏胡麻えごまからの製油や販売を独占



図6 大原女



図7 桂女

## ●貨幣経済の発達

貨幣には宋銭と、新たに日明貿易で流入した<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_ が使用された。

⇒(15) には、最も多く使用された<sup>(16)</sup> \_\_\_\_\_ の他に、洪武通宝があった。



農村でも年貢・公事・夫役を銭納することが多くなった。

→貨幣のさらなる需要増大から、国内の民間業者が鑄造した粗悪な<sup>(17)</sup> \_\_\_\_\_ も、  
市場を流通するようになった。

→取引で粗悪な貨幣を嫌い、良質な貨幣を選別する<sup>(18)</sup> \_\_\_\_\_ がよく行われた。

⇒選別は大変手間で、時にいざこざを起こして円滑な流通を妨げた。



(18) を規制するため、たびたび<sup>(19)</sup> \_\_\_\_\_ が出され、  
良銭・悪銭の基準や混入比率などが定められた。



図8 永楽通宝



図9 永楽通宝(私鑄銭)

## ●金融業の発達

質屋と高利貸を兼ねる<sup>(20)</sup> \_\_\_\_\_ や、酒造業と高利貸を兼ねる<sup>(21)</sup> \_\_\_\_\_ があった。

⇒幕府は(20) に土倉役、(21) に酒屋役という営業税を課した。

## ●運輸業の発達

### <水上運輸>

鎌倉時代の問丸が一般の卸売りも兼ねて発展した<sup>(22)</sup> \_\_\_\_\_ が増加した。

◇問丸…鎌倉時代、港・河川に居住して年貢などの保管・輸送にあたった業者



図10 馬借

### <陸上運輸>

京都までの輸送では、馬上に荷物を載せて運搬する<sup>(23)</sup> \_\_\_\_\_ や、

荷車を牛馬に引かせる<sup>(24)</sup> \_\_\_\_\_ などの業者が活躍した。

◇(23) (24) …関所の通行時に払う関銭に苦しみ、関所の新設に反対して時に蜂起



図11 車借